

中国各地における発掘・回収事業について



平成31年2月25日(月)
第19回遺棄化学兵器処理事業に関する有識者会議

2018年度事業

1 概要

約3 km四方の地域内の各所に砲弾埋没に係る情報がある。

2013年、2015年、2017年から継続して発掘回収を実施。

2 進捗状況

2018年8月～10月、尚志市帽児山鎮において、発掘・回収を実施し、遺棄化学兵器72発を回収した。

尚志の位置



発掘作業の状況



外観鑑定の状況

1 経緯

2017年4月の外務省現地調査で遺棄化学兵器の埋没を確認。

2 進捗状況

2018年4月～5月、牡丹江市鉄嶺鎮において発掘・回収を実施し、遺棄化学兵器1,048発を回収した。



発掘作業の状況



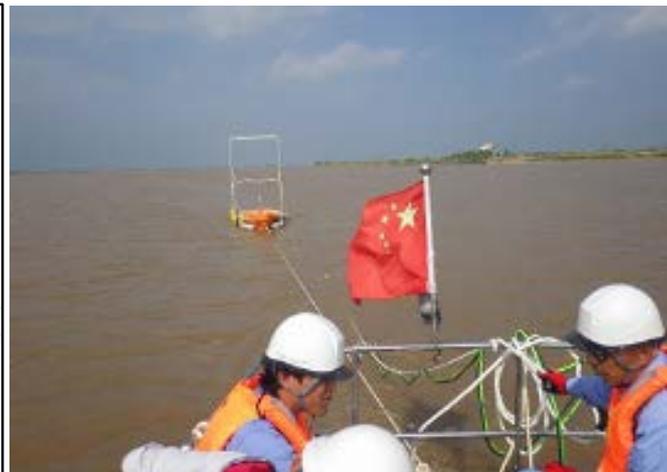
化学剤検知の状況

1 現地の特徴

400m×1200mの水域に、磁気異常点919点を確認（2008年時点）。
2015年度の試掘では、磁気異常点に金属片も多く含まれることが確認された。

2 進捗状況

2018年度は、河床面下の比較的浅い部分に埋没した砲弾等の探査及び回収技術の検証を新たに行った。



1 経緯

2018年、北安市における工事中に化学兵器と思われる砲弾が発見され、8月の外務省現地調査で遺棄化学兵器の埋没が確認された。

2 進捗状況

2018年10月～11月、発掘・回収を実施し、遺棄化学兵器138発を回収した。

北安の位置



金属探査の状況



発掘作業の状況

概要

2018年5月～7月までの間、吉林省通化市、龍井市及び黒龍江省鶏西市、伊春市に保管されているハルビンの処理場で2019年以降に廃棄予定の遺棄化学兵器219発について、輸送・廃棄処理に先立って必要となるX線鑑定や密封梱包等を実施した。

事業地域の位置



X線鑑定の状況



各地の発掘・回収等を通じた回収数の推移（ハルバ嶺を除く）

| | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 |
|-----|--------|--------|--------|
| 回収数 | 268 | 1, 270 | 1, 463 |

2019年度以降の主な課題

- 広範な地域に遺棄化学兵器の埋没が引き続き想定される尚志及び琿春の事業の継続及び日中間の調整
- 佳木斯の本格的発掘・回収事業の開始に向けた探査技術と工法の確立
(河床面下に埋没の遺棄化学兵器等の対応等が引き続き課題)
- 遺棄化学兵器の埋没が引き続き想定される牡丹江の事業
- 外務省の現地調査を通じて新たに遺棄化学兵器の埋没等が確認される場合の対応